



FMX (フリースタイルモトクロス) ライダー紹介

広野スタイル×フリースタイルを開催

昨年のリベンジを果たすため熱い男達がやってきた!

釘村 孝太 (KUGIMURA KOTA)

ニックネーム / OYAKATA (親方)

彼の辞書に「守り」の二文字は無い

日本初のプロFMXライダー宣言後、今日までシーンの先頭を突っ走るオリジネーター。ベテランと呼ばれるキャリアを持つものの、いま

だライティングのキレは増すばかり。フリップコンボのバリエーションも増え続けるという、まさに攻めの男。



鈴木 大助 (SUZUKI DAISUKE)

ニックネーム / DAICE (ダイス)

唯一無二のオリジナルティそして最多年間チャンピオン記録保持者

GOBIGシリーズチャンピオン獲得4回という飛び抜けた記録を持ち、世界で数名しかメイクしていない大技フレア540をメイクするなどま

だまだ進化が止まらない。また、海外の大きなショーなどに定期的に出演するなど世界中に「Daice」の名は轟いている。



関志路 充毅 (SEKISHIRO YOSHIKI)

ニックネーム / YOSHIC (ヨシック)

特定非営利活動法人セブンビーチファミリー理事長

地元でFMXを広めるべく精力的な活動を続けている。GOBIGでもベストリザルト2位と結果も残しながら

FMX普及活動も行い、福島では兄貴的な立ち位置で若手からの信頼も厚い。



藤田 拓也 (FUJITA TAKUYA)

ニックネーム / BUTTAKU (ブッタク)

日本FMXのDNAを受け継ぐ才能に注目

福島県出身の今最も注目すべき新勢ライダーの一人。レース未経験からのトップランカー入りを果たした未恐ろ

しい実力者。クラブ系トリックの大きさとキレは特筆に値し、異彩を放っている。



高橋 仁 (TAKAHASHI HITOSHI)

ニックネーム / HTC (エイチティーシー)

堅実なライドでファンを魅了する職人気質

モトクロス国際ライセンス保持者であり抜群のバイクコントロールから繰り出される技は見るものに浮遊感を与え

る。コツコツと練習を重ね、レギュラーフリップをメイクし、表彰台の一角を切り崩す期待がかかる次世代候補の一員。



鈴木 耕太 (SUZUKI KOTA)

ニックネーム / GONTA (ゴンタ)

ファンを楽しませるライドが信条のFMX NINJA

ライティングスタイルのみならず、そのライフスタイルそのものが個性の塊と言える独特のポジションを築く。スキルも非常に高いものを持

ち、国内のライダーでは唯一バイクメーカー (KTM) と契約を結ぶリアルプロフェッショナルライダー。



9月10日(日)、二ツ沼総合公園で広野スタイル×フリースタイルが開催され、町内外から約1200人の来場者が詰めかけました。相双神旗ディネードショー、いわき市出身のシンガーソングライター・Aliceのステージライブ、よさこいチーム「絆」によるよさこい、日本FMX(フリースタイルモトクロス)を代表する6人のライダー(鈴木大助、釘村孝太、藤田拓也、関志路充毅、高橋仁、鈴木耕太)によるFMXショー・サイン会など、大人から子どもまで楽しめる多彩な催し物を行いました。FMXショーは、昨年強風によりショーを断念したこともあり、今年は「リベンジ」の思いを込め、ジャンプ台からバイクごと空中に飛び出したライダー達の宙返りや離れ業といった大迫力のトリックを披露し、来場者を沸かせました。

広野夢大使に委嘱

広野スタイル×フリースタイルの席上でフリースタイルモトクロス第一人者として国内外で活躍する鈴木大助さんを広野夢大使として委嘱しました。遠藤町長から委嘱状を交付され、鈴木さんは「夢大使の名に恥じぬよう夢を持って挑戦していく。広野の復興を応援したい」と、若い世代へ向けて広野町をPRしていくことを約束してくれました。

写真キャプション

- ①にぎわう物販コーナー
- ②豪快なよさこいパフォーマンス
- ③来場者の歓声にライダー達も大満足
- ④懐かしい型抜きに必死な子ども達
- ⑤Aliceとバックダンサーのライブ
- ⑥子ども達に大人気でれすけ1号
- ⑦広野を題材とした相双神旗ディネードショー
- ⑧ライダーのサイン会に長蛇の列
- ⑨遠藤町長(右)から委嘱状を交付された鈴木大助さん(左)

